

# 若さでがんばってます

今回は堀内の

258

田村 教之さん (20歳)

を紹介します。



## とことん極めてみたい

— 今までは、  
県立福岡高校卒業後、県職員として採用され、堀内小学校に配属になりました。

— 仕事の内容は。  
勤めて一年十ヶ月になります。が、学校事務職員として、各種の事務を担当しています。

— 職場で心掛けていることは  
日々勉強、いろんなことを知識として取り入れ自分のものにするよう努力しています。

— 今の仕事についての理由は。  
周りの人の役に立つことが少しでもできればと。

— 小学校への配属はまだまだですが、とても楽しくやらせてもらっています。

— 仕事が休みの日は何をしていますか。  
実家に帰って弟と遊んだり、姉とどこかに外出したりです。

— 今、してみたいことは。  
旅行。国内外問わず、どこか遠くに行ってみたいですね。

— 趣味、特技は。  
探し中です。飽きっぽい性格なので…。

— 好きな言葉 (信条) は。  
マイペース。

— 理想の女性像と結婚は。  
自分の考えをしっかりと持っている人。結婚は早目がいいですね。

— 将来のあなたは。  
なにか一つでもいいからとことん極めてみたいです…。

— これからの村に期待するものは何ですか。  
村が今後どのような方向に進もうとも、地域として変わらぬいものを持ち続けてほしいと思います。

— 最後にあなたのPRを。  
村民になってやっと二年。まだまだ未熟ものです。これからもよろしく願います。

— 次回はどなたを紹介してくださいませか。  
芦渡の工藤哲哉さんです。

(今回は正路健太さんの予定でしたが、都合で健太さんから紹介いただいた田村教之さんに変更になりました)

## 鳥茂渡小児童ら

## 「車の車いす」12台も贈る

鳥茂渡小学校(菅原伊保校長、児童十四人)では、特別養護老人ホームうねとり荘(野崎貞信施設長、入所者五十五人)を昨年の十二月十二日に訪れ、アルミ缶回収活動で購入した車いす一台を、ことしも寄贈しました。

「贈呈式は同ホールで行われ、菅原校長は「車いすをプレゼントしようと、春から取り組んでいます。子どもたちは年々減ってきていますが、皆さんから集めていただく缶が増えています。子どもたちがプレゼントする車いすをいつまでも使つてください」とあいさつ。アルミ缶実行委員長の高屋敷舞さん(六年)が、「児童の人数が少なくなってきたが、アルミ缶がたくさん集まって車いすを贈ることができて本当によかったです」と笑顔で車いすを贈りました。



「車の車いす」ことしもありがとうと喜び合う

野崎施設長は「皆さんは一致団結して学校行事、地域活動に参加、校風をつくってきました。利用者の皆さんも大変心待ちにしています。この事業を長く続けてください」と感謝を述べました。

児童たちは、よさこいソーランや「星めぐりの歌」を合唱し、披露しました。お年寄りたちは、目に涙をためながら拍手で喜びを表していました。

同校は、平成八年度から空き缶回収活動を展開。換金し、車いすを贈り続けて今回で八台目になります。